

2018年5月改訂

牛群検定繁殖情報を利用する皆様へ

自動登録マニュアル

自動登録を円滑に実施するために



(一社)日本ホルスタイン登録協会

TEL 03-3383-2501

FAX 03-3383-2503

〒164-0012 東京都中野区本町 4-38-13

Web <http://hcaj.lin.gr.jp>

Mail hcaj@hcaj.or.jp

自動登録を円滑に実施するために！

自動登録を行うためには、正確な授精報告と速やかな出生報告が不可欠です。そのためには、次の作業を必ず行っていただくようお願いします。

1. 牛群検定立会の際には、授精記録を必ず検定員に報告してください
→詳細は2ページをご覧ください
2. 定期的に「分娩予定牛一覧」が届きます。最新授精情報を確認して、誤りがあれば修正し、F a xで返送してください
→詳細は3ページをご覧ください
3. 子牛が生まれたら、速やかに個体識別耳標を装着し、家畜個体識別センターへ「出生報告」を届出てください
→詳細は5ページをご覧ください
4. 子牛の希望名号、雌双子、赤白斑、異常斑紋、異性双子、虚弱体質、死亡したときなどは、出生報告後1週間以内に「自動登録実施農家連絡書」等で連絡してください
→詳細は5ページをご覧ください
5. 子牛は母牛の所有者名義で登録されます。同一家族間で登録牛の所有者を変更するときは、「登録牛の同一家族への所有者変更届」に記入し、F a xで連絡してください
→詳細は8ページをご覧ください
6. 事故になったときには「事故照会用紙」が届きます。事故内容を整備して返送してください
→詳細は10ページをご覧ください

下記の牛は自動登録の対象にはなりません。従来どおり個々の登録申込みが必要ですのでご注意願います。

①受精卵移植(ET)による生産牛 ② 輸入牛 ③ 雄牛

1. 牛群検定立会の際には、授精記録を必ず検定員に報告してください

1) 前月の立会以降に授精を行った検定牛と未経産加入牛について、次の事項を正確に報告してください。

① 検定牛コード

② 授精年月日

③ 授精した種雄牛の登録番号または略号

(例) 国内種雄牛は 54321 または JP5H54321

海外種雄牛、和牛は略号 11H01234、Pクロ 123 など

2) 次に該当する牛は、早期に牛群検定加入の手続きを行い、授精報告を必ず行ってください。

① 未経産牛、牛群検定未加入牛

速やかに加入手続きを行い、授精報告を行ってください。

授精データは4か月おきに収集するため、分娩前後に加入と授精報告を行っても、血統登録に間に合いませんので、早期に加入手続きを行ってください。

② 導入牛、預託戻り牛

事前に、家畜個体識別センターに「転入届」を提出してください。

速やかに加入手続きを行い、授精報告を行ってください。

分娩までに加入手続きが間に合わない場合は、「導入牛及び預託戻り牛の授精報告連絡書」に必要事項を記入してF a xで連絡してください。

3) 翌月の検定成績表に、前記 1) と 2) の授精報告が正確に記載されていることを確認してください。

※報告した内容が記載されていないときには、検定員に再度確認してください。

正確な授精報告をお願いします！

飼養牛の繁殖に関する記録は、酪農経営を行う上で大変重要な情報です。牛群検定成績表（個体累計成績）の「管理・繁殖の情報」には、皆さんからの授精報告が見やすく整備・記載されています。毎月の正確な授精報告が前提となりますのでご理解願います。

なお、自動登録に利用する牛群検定の繁殖データに関するお問い合わせは当協会までお願いします。

問い合わせ先・・・（一社）日本ホルスタイン登録協会

TEL 03-3383-2501

FAX 03-3383-2503

2. 定期的に「分娩予定牛一覧」が届きます。最新授精情報を確認して、誤りがあれば修正し、Faxで返送してください。併せて検定記録の修正申請をしてください。

1) 牛群検定繁殖情報を確認するため、概ね4か月の間隔で「分娩予定牛一覧」が届きます。

① 分娩予定牛は、授精年月日から90日を経過したものを掲載しています。したがって、授精から90日未滿のものは表示されていません

分娩予定牛一覧						2013年9月30日				
下記の記録に誤りがあるときは、訂正して各都府県の支部・承認団体までFAX送信して下さい。										
氏名	ホル協 太郎		住所	〇〇県××市△△町		日本ホルマシヤ協会 FAX:03 B 03				
会員番号	00-000-000-0-0		検定農家コード	00-00-000	農場コード	0000-00-0000				
検定牛コード	品種	登録牛	生年月日	名号	最新授精情報			分娩予定日		
					授精年月日	回数	種雄牛(登録番号又は略号)		種雄牛名号	事故状況
020	C	1234567890	H20.10.22	ジト-ジョイ-ルツクラン	H25.06.08	02	JP5H53414	乳牛	肉牛	H26.03.15
0202		1234567891	H17.01.18	ジト- RJ ロメオ シヤラホワ	H25.05.26	02	JP53655	乳牛	肉牛	H26.03.02
0203		1234567892	H21.07.28	ジト-ベルウート-ブリツメイスフイールド	H25.06.08	01	ジアツ	乳牛	肉牛	H26.03.15
0204		1234567893	H20.06.28	ジト-ビューティ-モナ	H25.06.08	01	H2755	乳牛	肉牛	H26.03.15
0205					H25.06.08	01	JP5H53414	乳牛	肉牛	H26.03.15
0206		1234567894	H14.12.19	ジト-ソルジョ-ガンルカ	H25.04.03	01	ET	乳牛	肉牛	H26.01.08
0207					H25.04.03	01	ジザク	乳牛	肉牛	H26.01.08

2) 「分娩予定牛一覧」の個々の検定牛について「最新授精情報」欄(A)の授精年月日、交配種雄牛に誤りがな~~い~~かを確認してください。

誤りがあるときは、枠内に黒色のボールペンで正しく訂正し、あなたの都府県の当協会支部承認団体にFaxで返送してください。

(記入例：
交配種雄牛が誤りの場合)

H25.06.08		JP5H53414	乳牛	JP5H53812	肉牛
02	スミツクランド フリー トレジヤ-				

(記入例：
授精年月日が誤りの場合)

H25.06.08	H25.6.6	JP5H53414	乳牛		肉牛
02	スミツクランド フリー トレジヤ-				

【注意】記載された授精が不受胎で新たな授精報告が行われている場合は次回分に記載されます。今回分の一覧での訂正は不要です。

3) 「事故状況欄」(B)に次のようなコメントがあったときは特に交配種雄牛の略号または登録番号を確認し、訂正してください。

- ① 「略号要確認」：報告の略号に不備があるが、標記の種雄牛名号と思われる。
→標記されている種雄牛名号が正しければ名号に○印を、
違うときは正しい略号（登録番号）を記入してください。

(記入例：
種雄牛名号が正しいとき)

H25.05.26		JP53655	乳牛	肉牛
02	エントレス ジアンビ			

(記入例：
種雄牛名号が誤りのとき)

H25.05.26		JP53655	乳牛 JP5H53812	肉牛
02	エントレス ジアンビ ジョビアン			

- ② 「略号不一致」：種雄牛の愛称又は存在しない種雄牛略号が記入されている。
→正しい略号（登録番号）を記入してください。

(記入例)

H25.06.08		ジアンビ	乳牛 JP3H53655	肉牛
01	ジアンビ			

(記入例)

H25.06.08		H2755	乳牛 JP5H52755	肉牛
01	ユース			

- ③ 「IDNo.ナシ」：検定牛の個体識別番号が報告されていない。

→個体識別番号欄(C)に10桁番号を記入してください。

(記入例)

検定コード	個体識別番号		名号	
品種	登録牛	生年月日		
0205	1234567895			
	確認中			

- 4) 受精卵移植したときは、種雄牛欄に「ET」と記入してください。
→E T産子の登録は、自動登録ではなく個別登録を申し込んでください。

(記入例)

H25.06.08		JP5H53414	乳牛	肉牛
02	スミツランド フリー トレジヤ ET			

- 5) 肉用種を交配したときは「肉牛」に○印を付けてください。

(記入例)

H25.06.08		JP5H53414	乳牛	肉牛
02	スミツランド フリー トレジヤ			

- 6) 未経産牛、導入牛、預託帰りで受胎している牛は、早期に牛群検定加入の手続きを行い、併せて「導入牛及び預託戻り牛の授精報告連絡書(※)」に必要事項を記入してF a xで連絡してください。
(※)当協会 Web サイトの「申込み」からダウンロードして利用してください。

3. 子牛が生まれたら、速やかに個体識別耳標を装着し、家畜個体識別センターへ「出生報告」を届けてください

- 1) 双子(または三つ子以上)は必ず全て同時に「出生報告」を届けてください。異性双子(または三つ子以上)の場合も同様です。
- 2) 牛の転入(導入、預託帰り)・転出(死亡、除籍)があったときは、速やかに「異動報告」を届けてください。
- 3) 出生報告が生後10ヶ月以上(ジャージーは1年以上)遅れた場合は、自動登録の超過料金が適用されます。

4. 子牛の希望名号、雌双子、赤白斑、異常斑紋、異性双子、虚弱体質、死亡したときなどは、出生報告後1週間以内に「自動登録実施農家連絡書」等で連絡してください

自動登録実施農家連絡書 (記入例)

自動登録実施農家連絡書

この連絡書は希望名号・双子・毛色・登録申込延期等に使用するもので、出生報告後1週間以内にFAXにて連絡願います。

(一社)日本ホルスタイン登録協会登録部宛
 FAX 03-3383-2503 連絡年月日 平成 23 年 1 月 1 日
 電話 03-3383-2501 県名 東京都 登録申込者 ホル協 太郎 農場コード 0333832501

1. 連絡欄 (耳標番 **B**、出生報告年月 **C** を記入し、該当する項目すべてを○で囲んで下さい)

耳標番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	出生報告年月日	平成 23 年 1 月 1 日										
該当を○で囲む	RED (赤白斑)	OC (異常斑紋)	雌双子	雌双子片方死亡	異性双子登録延期	虚弱体質登録延期	異性双子登録取消	虚弱体質登録取消	死亡登録取消	延期牛の登録申請												
希望名号	ト	レ	ン	ト	マ	ス	タ	ー	サ	マ	ー	DE	D	フ	タ	コ						

耳標番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	出生報告年月日	平成 22 年 12 月 31 日
該当を○で囲む	RED (赤白斑)	OC (異常斑紋)	雌双子	雌双子片方死亡	異性双子登録延期	虚弱体質登録延期	異性双子登録取消	虚弱体質登録取消	死亡登録取消	延期牛の登録申請		
希望名号												

耳標番号	1	2	3	4	5	6	7	9	1	2	出生報告年月日	平成 22 年 12 月 31 日
該当を○で囲む	RED (赤白斑)	OC (異常斑紋)	雌双子	雌双子片方死亡	異性双子登録延期	虚弱体質登録延期	異性双子登録取消	虚弱体質登録取消	死亡登録取消	延期牛の登録申請		
希望名号												

耳標番号	1	2	3	4	5	6	7	9	2	3	出生報告年月日	平成 23 年 1 月 1 日
該当を○で囲む	RED (赤白斑)	OC (異常斑紋)	雌双子	雌双子片方死亡	異性双子登録延期	虚弱体質登録延期	異性双子登録取消	虚弱体質登録取消	死亡登録取消	延期牛の登録申請		
希望名号												

2. その他の連絡欄

E 1234567912は異性双子で登録延期したが、分娩したので登録して下さい 子牛個体識別番号1234567

1) 生まれた雌子牛について次の事柄に該当するときは、「自動登録実施農家連絡書」に記入して、**出生報告後1週間以内**に日本ホルスタイン登録協会にFaxで連絡してください。

※「自動登録実施農家連絡書」は、当協会 Web サイトの「申込み」からダウンロードして利用してください。または同ページにある「自動登録実施農家連絡書（入力用）」から直接内容を入力して、メールでの送信も可能です。

※インターネットで出生報告を行っている方は、補足情報報告システムもご利用になれます。本システムの詳細は別紙をご覧ください。

① 希望名号をつける場合（9ページ記入例のA）

- ・ 「1.連絡欄」に雌子牛の耳標番号と希望名号を記入してください。
- ・ 名号は「3名法」（母牛から1単語＋父牛から1単語＋独自の単語）を基本とし、単語間の空白、濁点、半濁点をそれぞれ1文字分として、特殊名号である「RED」「OC」「フタゴ」を含めて32文字以内とします。
- ・ 同一牛群内での同一名号は避けてください。
- ・ 1単語の文字数は15文字以内とします。
- ・ 間違いやすい文字は区別がつくようにハッキリと記入してください。
 (例)「ア」と「マ」、「シ」と「ツ」と「ミ」、「カ」と「ヤ」、「エ」と「コ」と「ユ」など
- ・ 下表の「命名上の取り決め」にしたがって命名してください。
- ・ このほか相応しくない名号は、修正することがありますのでご了承ください。

[命名上の取り決め]

命名例	内容
ABCDE (注)	名号の中に、英単語は2単語以内、全10文字まで使用できます。但し、カナ文字名号も2単語以上使用してください。
12345 (注)	名号の中に、数字単語は2単語以内、全10文字まで使用できます。但し、カナ文字名号も2単語以上使用してください。
123RD HA5	数字と英文字の混在は、使用できます。「123RD」や「HA5」と、そのまま命名されます。
SWデー デーSW	英文字とカナの混在は、使用できます。「SWデー」および「デーSW」と命名されます。
ナンバー15	カナと数字は混在できません。「ナンバー 15」と空白が入り、命名されます。
4-55 A-B AB-12	「-」ハイフンは数字間、英文字間および英文字と数字間でのみ、合計二つまで使用できます。「4-55」、「A-B」あるいは「AB-12」と命名されます。
B, C	「,」コンマは使用できません。「B C」と空白が入り命名されます。
B. C	「.」ドットは文字間でのみ一つ、合計二つまで使用できます。
I、II、III	ローマ数字は使用できません。「1」「2」「3」と算用数字に変換されます。
&、#、/、()	記号は使用できません。
OC、RED、ET、GP、 VG、EX、オーシー、 レツド、イーティー	特殊な意味を持つ単語は使用できません。
双子の「ツイン」	ツイン、TWINは使用できません。双子の場合は名号末尾に「フタゴ」と命名されます。
双子の「1」「2」	数字は名号の先頭、または「フタゴ」の前に付けます。「1…フタゴ」「2…フタゴ」、「…1 フタゴ」「…2 フタゴ」と命名されます。
双子の「A」「B」	英文字は「フタゴ」の前に付けます。「…… A フタゴ」「…… B フタゴ」と命名されます。

(注)英単語と数字単語の双方を付与する場合は、名号の中で合わせて2単語以内とし、文字数は10文字以内とする。

② 赤白斑(RED)、異常斑紋(OC)の場合 (9ページ記入例のB)

- 「1.連絡欄」に耳標番号を記入し、「RED(赤白斑)」または「OC(異常斑紋)」を○で囲んでください。

本牛および母牛がホルスタイン種の場合、品種の毛色・特徴を備えているかを確認してください。

本牛および母牛は、正常な黒白斑または異常黒白斑(OC)、赤白斑(RED)とします。更紗毛(さらさげ)や白、黒又は赤一枚毛のものや、改良上排除すべき著しく生理機能を損ずる遺伝的不良形質のあるものは登録できません。

③ 雌の双子(または三つ子以上)の場合(9ページ記入例のC)

- 「1.連絡欄」に耳標番号を記入し、「雌双子」を○で囲んでください。
- 片方が死亡したときは、生きている方の子牛の耳標番号を記入し、「雌双子片方死亡」を○で囲んでください。片方が死亡した場合でも、登録の際には名号の末尾に「フタゴ」が付きます。
- 雌の双子の片方が耳標装着後に死亡したため登録を取消したい場合は、死亡した方の子牛の耳標番号を記入し、「死亡登録取消」を○で囲んでください(9ページ記入例のF)。

④ 異性双子、虚弱体質、または遺伝子型検査の親子判定予定などで登録を延期する場合(9ページ記入例のD)

- 異性双子の雌や虚弱体質で登録延期するときは、「1.連絡欄」に耳標番号を記入し、「異性双子登録延期」もしくは「虚弱体質登録延期」を○で囲んでください。
- 異性双子の雌は、フリーマーチン検査でフリーマーチンでないと推定される、もしくは受胎確認(妊娠鑑定書必要)または分娩確認(分娩した子牛の個体識別番号要連絡)まで登録できません。
- 子牛が遺伝子型検査の親子判定予定のため登録延期するときは、「1.連絡欄」に耳標番号を記入し、「2.その他の連絡欄」にその旨を記入してください。

⑤ 分娩時に無形無心体や何らかの付随物があった場合

- 雌牛が単子で生まれていても無形無心体や何らかの付随物があった場合はフリーマーチンの可能性があるため、異性双子と同様の扱いとなります。したがって、フリーマーチン検査でフリーマーチンでないと推定されたもの、もしくは受胎または分娩確認されたものに限り、単子として登録をします。
- 「1.連絡欄」に耳標番号を記入し、「2.その他の連絡欄」にその旨を記入してください。

⑥ 同一発情期に2種類以上の精液を交配した場合

- 「1.連絡欄」に耳標番号を記入し、「2.その他の連絡欄」に記入してください。
- 正しい父牛を確定するために、遺伝子型検査による親子判定を行ってください。

- ⑦ 耳標装着後死亡牛、異性双子または虚弱体質などで登録を取消する場合(9ページ記入例のF)
- ・ 「1.連絡欄」に耳標番号を記入し、「死亡登録取消」、「異性双子登録取消」もしくは「虚弱体質登録取消」を○で囲んでください。
 - ・ 但し、雌雄が同時に出生報告されている場合は、雌牛は事故照会せずに登録を保留します。
- ⑧ 登録延期していた牛を後日登録する場合(9ページ記入例のE)
- ・ 「1.連絡欄」耳標番号を記入し、「延期牛の登録申請」を○で囲んでください。
 - ・ 但し、以下の場合は連絡がなくても、遺伝子型検査の結果を当協会を確認し、結果次第で登録を行います。
 - a) フリーマーチン検査でフリーマーチンでないと推定された場合
 - b) 親子判定の結果、正しい親子関係が判明した場合
- ⑨ 上記以外に連絡すべき内容があれば「2. その他の連絡欄」に記入してください。

※自動登録実施農家連絡書で報告した内容を変更/訂正するときは、内容を確認の上、新たに連絡書を作成し、報告年月日を記入して、再度F a xで連絡してください。

5. 子牛は母牛の所有者名義で登録されます。同一家族間で登録牛の所有者を変更するときは、「登録牛の同一家族への所有者変更届」に記入し、F a xで連絡してください

- 1) 子牛は、母牛の所有者名義で登録されます。導入牛は「自動登録申込書」において申請のあった方の名義となります。
- 2) 同一家族間であれば、登録牛の所有者を変更することができます。「登録牛の同一家族への所有者変更届」に必要事項を記入してあなたの都府県の当協会支部・承認団体まで送付願います。
※「登録牛の同一家族への所有者変更届」は、当協会Webサイトの「申込み」からダウンロードして利用してください。

登録牛の同一家族への所有者変更届（記入例）

登録牛の同一家族への所有者変更届			
下記登録牛の所有者を次のとおり変更したく、届け出ます。		①	平成 26 年 1 月 1 日
家畜個体識別センターに報告している農家コード		②	0 3 3 3 8 3 2 5 0 1
③	自動登録申込者名	ホル協太郎 ㊞	
④	変更後の所有者名 <u>ホル協大介</u>	会員番号	3 6 0 0 2 1 2 3 2 4
	(家族に会員がいる場合)		
⑤	氏名 <u>ホル協花子</u>	会員番号	3 6 0 0 2 1 2 3 3 5
	氏名 _____	会員番号	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □
⑥	支部・承認団体名 <u>東京都XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX</u>	㊞	
所有者を変更する牛 (いずれかに○をつけて下さい。2. の場合は所有者変更希望欄に記入願います)			
⑦	① 所有牛全頭を変更希望(下記の表は記入不要) 2. 下記の所有牛のみ変更を希望		
変更を希望する牛(登録番号と個体識別番号が同じ場合は、個体識別番号を省略可)			
⑧	⑨	⑩	⑪
牛群検 定 コード	登 録 番 号	個 体 識 別 耳 標 番 号	生 年 月 日
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □

所有変更届の記入項目

- ① 報告年月日
- ② 家畜個体識別センターに報告している農場コード 10 桁
- ③ 自動登録申込者名と捺印
- ④ 変更後の所有者名と会員番号
- ⑤ 家族に会員がいる場合はその氏名と会員番号
- ⑥ 支部・承認団体名と団体印
- ⑦ 所有牛の(1)全頭または(2)一部を変更するか、○印をつける
- ⑧ 一部変更の場合は変更する牛の牛群検定牛コード
- ⑨ 登録番号
- ⑩ 個体識別耳標番号：登録番号と同じ場合は省略可
- ⑪ 生年月日：和暦

3) 自動登録では、登録牛の導入や同一家族間での名義変更の場合に、原簿(データ)上で所有者を変更できますので、従来の移動証明は不要で移動証明料金はかかりません。ただし、血統登録証明書に所有者の追記を希望する場合は、移動証明申込(有料)が必要です。

6. 事故になったときには「事故照会用紙」が届きます。事故内容を整備して返送してください

自動登録で事故になったときの事故照会用紙

事故照会		(一社)日本ホルスタイン登録協会 日本ジャージー登録協会 〒164-0012 東京都中野区本町4丁目38番13号 TEL 03-3383-2501 FAX 03-3383-2503	
この申込みは下記の事故で保留となっています。至急調査の上、ご回答願います。 自動登録申込みの回答はFAXをご利用下さい。			
照会年月日 平成26年09月06日			
都道府県	東京都	団体名	中野本町酪農業協同組合
申込者	住所	東京都中野区本町4-38-13	
氏名	ホル協 太郎		
会員番号	36000-000-0-0		
申込種別	血統	申込年度	2014
照会番号	18081-0000		
自動登録			
申込牛	ホルスタイン	父牛	
品種		登録番号	
耳標番号	1420192788	名号	*****
名号		略号	
生年月日	26.06.06	母牛	
授精年月日		登録番号(耳標番号)	1303290699
在胎日数	日	名号	ホキヨウ プラウド グリス
直近の子牛ID		生年月日	22.09.15
生年月日		牛検コード	3600000-0702
		牛検の分娩日	
照会内容 46 種雄牛登録番号・授精年月日を調査・確認願います。授精内容が確認できる書類(授精証明書、授精台帳等いずれも写し可)を送付願います(FAX可)。			
照会内容			
回答欄 回答年月日 _____ 回答者 _____ (印)			
署名する			
授精証明書を省略する場合(自家授精もしくは授精師と回答者が同一所属団体のみ可)は下欄に記入して下さい。家畜人工授精用精液証明書(精液ラベル)は回答欄に貼付願います。			
精液注入雌牛生年月日		年	月
精液注入年月日		年	月
精液注入時飼養者住所	氏名 _____ (申込者と同じ)		
家畜人工授精用精液証明書番号	_____		
種雄牛登録番号	_____		
または略号	_____		
上記のとおり相違ありません。		年	月
自家授精	獣医師・家畜人工授精師 所属団体 _____ (右側省略) 獣医師・家畜人工授精師名 _____ (印)		
人工授精証明書添付時は省略可			

- 1) 事故になったときには、上図のような「事故照会用紙」が届きます。
照会内容を確認し、必要な書類などを整備して、あなたの都府県の当協会支部・承認団体まで返送してください。なお、回答欄には**回答年月日と回答者の署名**をお願いします。

①授精報告がない、または交配種雄牛(略号または登録番号)の誤り
正しい授精内容が確認できる書類(授精証明書、繁殖台帳などの写し)を添付してください。

② 在胎日数の矛盾

在胎日数が265日未満および296日以上の場合は、正しい授精内容が確認できる書類(授精証明書、繁殖台帳などの写し)を添付してください。

ただし、授精記録を確認した上で、在胎日数が260日~264日もしくは296日~300日の場合は、回答欄に「早産」または「遅産」と付記すれば、授精証明書などの添付は省略できます。

【①②の授精証明書等の添付を省略できる条件について】

次の(a)(b)に該当する場合は、事故照会用紙左下にある授精関係記入欄に必要事項を記入することで、授精証明書などの添付を省略できます。その際、精液ラベルの貼付もしくはラベル番号の記入が必要となりますのでご注意ください。

(a)自家授精の場合

(b)人工授精師(または獣医師)と事故回答者が同一人物
または同一所属団体である場合

③牛群検定との生年月日不一致

牛群検定に報告された母牛の分娩日と個体識別センターへ報告された本牛の出生日が異なる場合は事故照会を行います。

正しい出生日と母牛を確認し、誤った報告を修正した上で、事故照会用紙に正しい生年月日を記入してください。

④前産の記録と本牛の出生が矛盾する場合

本牛の出生日と母牛の前産の分娩日の間隔が短過ぎるなど矛盾がある場合は事故照会を行います。

個体識別センターへの報告内容に誤りがないか等を確認し、誤った報告を修正した上で、事故照会用紙にその旨を記入してください。